

週刊「中国・アジア」ダイジェスト

2012.04.02~04.13

記事の詳細は、情報検索サービス『キシジク』でご覧になれます

*記事は東京発行・最終版

CHINA

4月2日(月)

中国・インドに新工場棟
ハイレックス/車用ケーブル

ハイレックスコーポレーションは、中国とインドで自動車用コントロールケーブルの生産拠点を2013年5月までに増強する。中国では2拠点で新工場棟を設け、1拠点でラインを増強。(6面)

キヤノン、中国で攻勢

カラー複合機/3都市で展示会

キヤノンは中国の事務機器市場で攻勢をかける。北京、広州、成都の3都市で複写機や複合機などの製品・技術展示会を開催する。需要の拡大が見込めるカラー機拡販策も講じる。(8面)

東洋電機、南京工場を移転

センサー・配電盤/市の緑地整備

東洋電機は、エレベーター向けセンサーや配電盤を製造する南京市の工場を移転する。南京市から緑地整備などの理由で移転を求められたため。南京市内や取引先の多い上海市近郊が候補。(8面)

4月3日(火)

ユニオン機工、ダイカスト工場
太倉市/日系電機向け

ユニオン機工は、太倉市のダイカストと機械加工の新工場を稼働させた。日系電機メーカーなどが現地生産を増強していることに対応する。現地企業からの新規受注も狙う。(8面)

4月4日(水)

川重、中国合併への出資拡大
建造能力・収益性を向上

川崎重工業は、中国造船大手との合併・大連中遠造船工業への出資を拡大する。外資規制上限の49%まで高める。設計・建造ノウハウなどを提供し、建造能力と収益性の向上を図る。(7面)

NTTコム、日中間に高速回線
ストレージサービスを強化

NTTコミュニケーションズは、オンラインストレージを強化。中国本土向け高速インターネット回線とファイル転送用サーバを香港に新設。大容量の高速転送が100分の1の時間で。(11面)

ASIA

4月2日(月)

トヨタ、「ハイエース」投入
インドとインドネシア

トヨタ自動車は、年内にワゴンタイプの商用車「ハイエース」をインドとインドネシアに投入する。タイで年2万台の実績があり新興国で人気が高い。販売台数はそれぞれ月1000台程度。(1面)

4月3日(火)

ベトナムとタイに新工場
ショーワ/2輪用アブソーバ

ショーワは、ベトナムとタイに2輪車用ショックアブソーバの工場を新設・増設する。ベトナムの工場は2012年12月、タイは2013年4月の稼働を目指す。2拠点合計の投資額は約6億円。(6面)

タムラ製、アジア開発を強化

電子材料/韓国に新拠点

タムラ製作所は、アジアで電子化学材料の開発機能を強化する。中国・上海市の拠点で開発人員を倍増。韓国に新たな拠点。ペースト状ハンダなどの電子材料を需要にあわせて迅速投入。(9面)

ドコモ、設立を断念

スマホ半導体の日韓合併

NTTドコモは、富士通や韓国サムスン電子など国内外の電機メーカー5社と続けてきたスマートフォン向け半導体の開発・販売を手がける共同出資会社の設立に向けた交渉を断念する。(10面)

4月4日(水)

日本でインド人を採用
ジェイテクト/現地生産を管理

ジェイテクトは、インドでの事業を円滑化するため、日本国内でインド人を採用する。インド拠点と情報交換しながら日本で現地の生産状況を管理。インド人幹部候補生の本社登用も検討。(3面)

4月5日(木)

ミャンマー金融市場の整備支援
東証・大和総研/人材を育成

東京証券取引所と大和総研は、ミャンマー中央銀行と証券取引所の設置など金

党の最高実力者である『第一書記』に就任した金正恩
北朝鮮中央軍事委副委員長(フルームバーグ)



4月5日(木)

デンソー、上海を拡張

現地開発を推進/来夏移転

デンソーは、上海市にある開発拠点のテクニカルセンターを2013年夏に移転・拡張する。投資額は50億円超。中国で車の適合設計を中心とする開発の現地化を推進する。(1面)

「PM2.5」-中国で社会問題

日本の測定機器メーカーに商機

中国で、微小粒子状物質「PM2.5」が社会問題化。健康被害の原因物質の一つで、中国政府は監視強化。日本でも監視体制づくりが始まり、測定機器メーカーなどに商機が。(深層断面=24面)

4月6日(金)

三井倉庫、上海に投資会社

物流活発化で統括拠点

三井倉庫は、上海に全額出資の投資会社「三井倉庫(中国)投資有限公司」(資本金4000万円相当額)を設立した。全社の拠点網を一段と拡大するための投資や統括事業を担う中核会社とする。(3面)

三菱重工、ディーゼル合併

エンジン3機種/500kW 1600kW

三菱重工工業は、中国ディーゼルエンジン大手の上海ディーゼルと「上海三菱重動機」設立で合意。三菱重工が生産・販売ライセンスを供与する、出力500^{kw}・1600^{kw}の3機種を生産する。(6面)

東研サーモ、中国に第2工場

熱処理能力2倍/蘇州市

東研サーモテックは、2014年に江蘇省蘇州市の生産子会社に第2工場を新設する。同国での熱処理加工能力を2倍以上に高める。10億円投資。自動車や建機、家電向け部品に照準。(7面)

4月10日(火)

カルビー、中国に進出

スナック菓子/伊藤忠・現地社と合併

カルビーと伊藤忠商事は、中国で投資事業会社「康師伝方便食品投資(中国)」と合併会社を7月に設立する。新会社は「天津カルビー食品」でスナック菓子の製造販売を行う。(3面)

キリウ、中国で車部品を強化

ブレーキ部品、生産補充

キリウは、中国で自動車部品事業を強化する。このほど車用鋳造部品を製造する富士と機械工業の子会社の株式18%を取得し中国でブレーキ部品の生産補充体制を構築する。(5面)

スギヤス、中国からOEM供給

電動式ハンドバレット

スギヤスは、中国・EPRiftからOEM供給を受けた電動式ハンドバレットトラックを投入する。中国メーカーから製品の供給を受けるのは初めて。国内の工場や倉庫向け。(7面)

山本精工、中国市場に参入

電子部品の画像検査装置

山本精工は、中国市場に参入した。上海市にマーケティングも担う営業拠点を

設置。携帯電話や電子部品の画像検査装置を自社開発し、中国現地企業向けの第1弾製品として投入。(7面)

エレベーター研究塔を着工

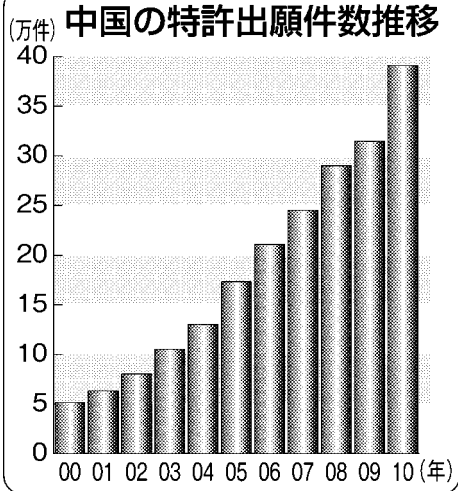
フジテック/地上151m

フジテックの中国合併が、現地でエレベーターの研究塔を着工した。現地でのビルの高層化や大規模化に対応した高速エレベーターを試験。中国製高速エレベーターの開発に。地上151^m。(8面)

中国特許の情報、サービス競う

存在感が高まる/特許情報各社

特許情報サービス各社が、検索をはじめとした中国特許に関するサービス提供に乗り出している。日本企業の中国進出が加速しているのに合わせて、特許情報も中国の存在感が高まる。(9面)



二次電池用電解液の原料を生産

宇部興産/年10万ト

宇部興産は、5月までに中国でリチウムイオン二次電池用電解液の原料となる炭酸ジメチルを製造する合併会社を設立する。濮陽市内の中原大化の工場隣に生産能力年10万^トの設備を新設。(10面)

住商、中国でコム販売

上海・広州など都市部

住友商事は、中国でコメビジネスを本格化する。農産物出荷・加工を手がける吉林糧食集団の子会社に25・30%を出資、今秋をめどに上海や広州など都市部を中心にコメ販売を始める。(13面)

4月11日(水)

ホンダ、中国の販売2倍

年120万台/10車種以上投入

ホンダの中国法人が、中期事業戦略。2015年に中国の販売を2倍の年間120万台強に引き上げる。中国合併の广汽ホンダで生産能力を増強する。3年間に10車種以上を新車投入や全面改良。(5面)

アジア進出、トップ主導で

関西同友会/中小に提言

関西経済同友会は、経営トップ主導で進めるなど、中堅中小企業のアジア進出成功のポイントについて提言をまとめた。B C P構築や現地幹部などの人材育成の必要性などを強調した。(25面)

4月11日(水)

トヨタ車体、タイ現法子会社化

年末再開/必要な設備導入

トヨタ車体は、トヨタ自動車と共同出資するタイ現地法人の出資比率を引き上げて、子会社化。タイ現法の工場は休止中だが年末に再開する。増資で塗装設備など必要な設備を導入する。(3面)

韓国・GSカルテックスと提携

昭和シェル石油・太陽石油

昭和シェル石油と太陽石油は、韓国のGSカルテックスと石油化学事業で提携する。GSの工場の増強計画に日本の2社が協力。2社が原料のミックスケレンを日本から供給する。(16面)

4月12日(木)

インドネシア・中国工場拡張

ミツバ/パワステなど増産

ミツバは、インドネシアと中国の生産子会社で工場を秋に拡張する。インドネシアでは2輪車、4輪車向け電装品の増産など。大連の工場は電動パワーステアリングなどを増産する。(3面)

排水処理、シンガポールで開発

東芝/公益事業庁と覚書

東芝は、シンガポールの上下水道行政を担う公益事業庁と排水処理技術の開発で覚書。また同国に水処理技術の研究・開発拠点を置いた。事業売上高を2015年度に50%増の1500億円に。(8面)

4月13日(金)

ネステック、インド参入

計測機器/船舶・発電向け

ネステックは、インドで非水銀式温度計や圧力計の計測機器の販売に乗り出す。6月までに現地生産子会社に営業部門を新設、代理店も整備する。船舶エンジンや、発電プラントを狙う。(1面)

サムコ、ベトナムに拠点

微細化技術/東南ア提案

サムコは、ベトナム・ホーチミン市に微細化技術関連装置のサービス拠点を5月にも設ける。東南アジアとインドにお

4輪車の変速機部品生産

イナテック/工場、夏に完成

イナテックは、2013年春をめどに浙江省平湖市で、4輪車の変速機部品を生産する。今夏には工場を完成し、加工設備を導入して試作に着手する。日系車部品メーカーに納入する。(5面)

4月12日(木)

富士重、進めぬ中国工場計画

諦めない・姿勢を強調

富士重工業が、中国での工場建設計画を見送るとの観測が強まっているが、同社首脳は「早期実現を目指しており、諦める気はない」と強調する。足踏み状態が継続している。(5面)

富士電機、深圳に新ライン

パワー半導体組み立て/月50万台

富士電機は、中国にパワー半導体の後工程拠点を設置する。深圳市の拠点内に組み立てを担う新ラインと新棟を設置。2015年をめどに生産能力を月50万台に高める。約15億円投資。(8面)

富士通、中国に初のD C

広東省機関と合併

富士通は、広東省管轄の広東数字証書認証センターと合併会社を設立し、広東金融ハイテクパーク内にデータセンターを開設した。富士通が中国にD Cを所有したのは初めて。(9面)

4月13日(金)

浙江省に中小専用施設

中国・金輝/複合型施設

中国浙江省に日本の中小企業専用の複合型インキュベーション施設が誕生する。中国で医療機器の製造や不動産開発の金輝が開発主体で、工場棟や事務所、居住施設が一体の施設を建設。(3面)

三菱自、中国で「R V R」生産

「パジェロ」に加えS U V充実

三菱自動車は、S U V「A S X(日本名R V R)」を中国で生産する。「パジェロ」に加えS U Vのラインアップを強化する。中国で医療機器の製造や不動産開発の金輝が開発主体で、工場棟や事務所、居住施設が一体の施設を建設。(3面)

ブラザー、工作機械生産2倍

月産400台

ブラザー工業は、2013年3月期の中国での工作機械生産台数計画を倍増する。当初計画から1年遅れの達成を目指す。シチズンマシナリーミヤノに委託するM Cと合わせて月産400台程度。(7面)

TELOP

ベトナムのF P C会社買収

住友電工(2日8面)

印にクレーン販売子会社

タダノ(3日8面)

マレーシアに保守子会社

ヴィンキュラムジャパン(3日10面)

三井化学、タイで生産

食品包装フィルム(3日11面)

タイで大衆薬品事業統合

大正製薬(3日15面)

アジアで年200万台販売

トヨタ常務役員(4日3面)

三井造、フタジエンプラント受注

シンガポール社向け(4日6面)

クラレ、タイに事務所

E V O H樹脂開拓(4日13面)

シャチハタ、マレーシア移管

朱肉/災害リスク対応(4日19面)

L I X I L、アジア軸に海外展開

合併・M & A検討(4日19面)

英フィデッサ、印・米に拠点

デリバティブ提供(4日21面)

オリックス、キンレイを買収

中国・アジア進出後押し(5日15面)

賃貸工場、建設ラッシュ

東南ア/低い投資に人気(6日1面)

ローソン、ミャンマーに出店

ヤンゴンなど計画(6日3面)

京都銀、バンクネガラと提携

インドネシアの大手銀行(6日15面)

アジア学生の受け入れ増

知財大学院協議会(6日19面)

ビジネスジェットで提携

双日子会社/香港ホテルと(11日17面)

エアアジアと海外旅行保険

損保ジャパン(11日19面)

インドなど海外に3拠点新設

ジェイアイ傷害火災保険(11日19面)

中国子会社にプレス増設

山陽特殊製鋼(12日10面)

TELOP

大連の水インフラ整備で覚書

日立プラントテクノ(2日7面)

中国の小学校食堂建設支援

O K I / 陝西省(3日9面)

アズビル、中国ビル空調事業拡大

新設のオフィスビル向け(4日6面)

中国化繊協と相互連携

帝人(4日13面)

中国の熱交換器製造会社に出資

日阪製作所(5日6面)

オフショア開発拠点到販売部署

日本コンピューター・システム(5日9面)

中国でコメ生産

漢方ミネラル農産物生産組合(5日13面)

青島に中国初店舗

マックスバリュ西日本(6日3面)

オリックス、車リース合併

5年後80拠点、10万台(6日5面)

上海に車載用計器販売

日本精機(6日5面)

中国合併で排熱発電設備が稼働

三菱マテリアル(10日10面)

高耐久性ロープ、生産3倍

ティバーアル/月45万^ト(10日13面)

三井住友海上、N E X I と提携

香港現法/日系損保で初(10日15面)

中国に樹脂メッキ工場

白金鍍金/車・電機向け(11日6面)

三菱化学、出前式技術交流会

営業体制を強化(11日15面)

合併設立協議、中国社と決裂

東洋アルミ(11日15面)

上海に環境緑化合併

トヨタとサントリー子会社(12日5面)

中国試験機関と共同研究

堀場製作所(12日6面)

水処理運転・管理、中国社に出資

三菱レイヨン・豊田通商(13日11面)

ひと

チャンスのケタ違う

「中国内陸部のチャンスはけたが違う」と感心するクボプラ社長の久保安宏さん。河南省長葛市の自動車産業集積への進出を誘われている。隣の鄭州市には海馬汽車や鄭州日産汽車などが立地「海馬汽車だけで生産を40万台から150万台に上げる」という巨大計画。(11日=5面)

クロタニコーポ、アジアに現法

タイ・マレーシアが候補(13日10面)

タイのグループ2社が再開

住友軽金属(13日10面)

韓国新薬社と総代理店契約

豊田通商(13日13面)

インド生保大手に出資

三井住友海上(13日15面)

ラオス商工会議所と経済協定

川崎商工会議所(13日26面)

ひと

復活「ダットサン」

「ダットサン車は手ごろさや信頼性の高さでお客さんを満足させてきた。それと同じ価値を新興国で提供する」と、ブランド復活で日産自動車副社長の片桐隆夫さん。インドとインドネシア、ロシアで発売。「お客さんには高価な買い物で期待も高い」という。(3日=6面)

上昇気流はアジアから

「アジアからの観光客増加は空港の経営に追い風」と喜ぶ中部国際空港社長の川上博さん。海外旅客の7割が中国、韓国、台湾、香港からだ。国際線はアジア便を中心に26便増えて週289便。「アジア需要を取り込み、経営を成長軌道に乗せたい」と意気込む。(3日=15面)